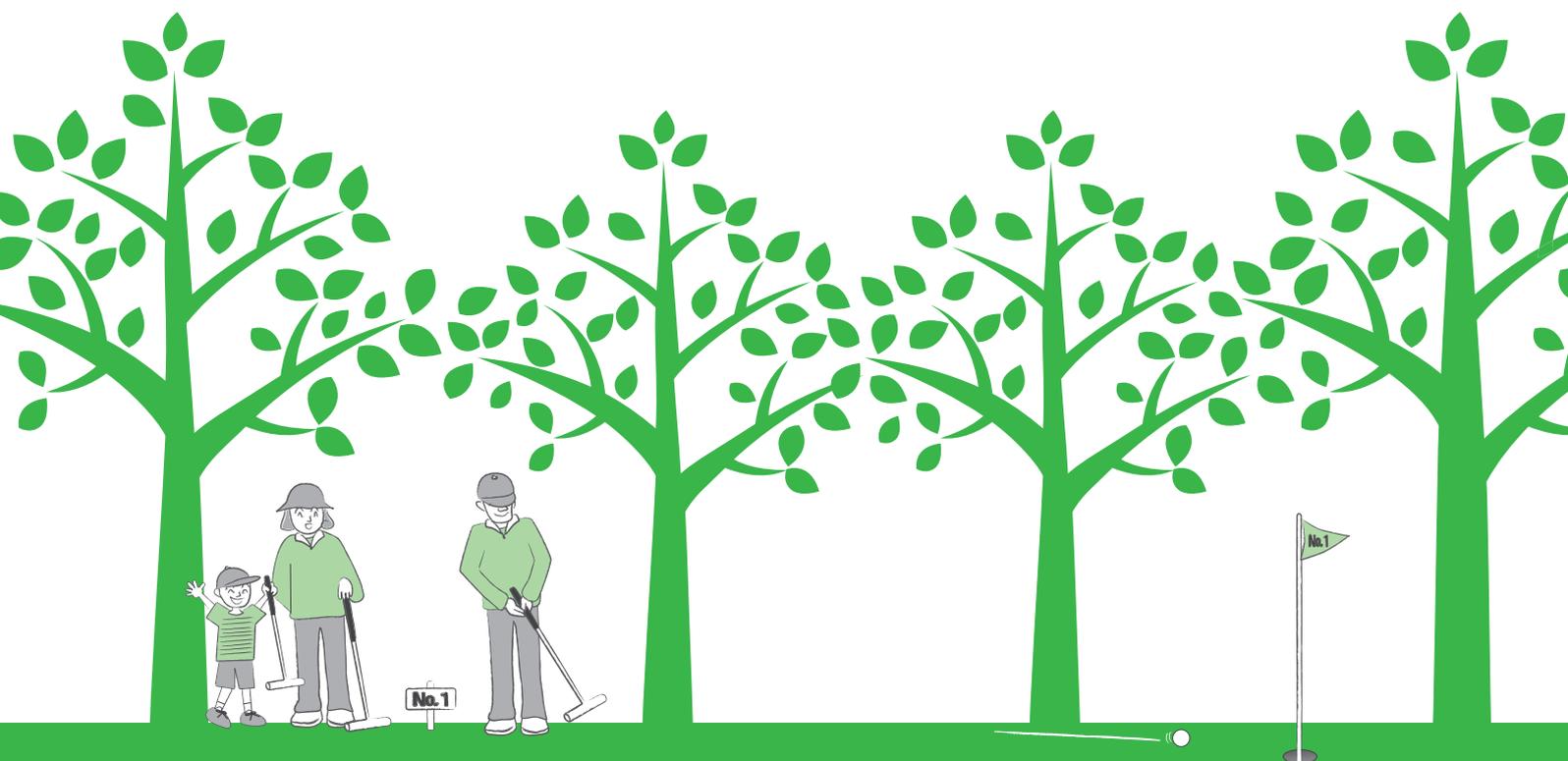


ファミリースポーツ

GREEN BALL

グリーンボール

競技規則・解説書



財団法人 江別市スポーツ振興財団

● 競 技 規 則 ●

はじめに

このスポーツは、ゴルフ、ゲートボール、ペタンクの面白さを取り入れ考案したファミリースポーツです。

年齢・体力的なハンディーもあまりなく、少年層から高齢者まで老若男女を問わず、だれもが気楽にプレーできるので家族で楽しんでください。

命名は芝生の上でゲームを楽しむスポーツということで、「グリーンボール」と名付けました。

グリーンボールには、3種類のパートがあります。ルールは簡単なので、このパートを自由に組み合わせてプレーを楽しんでください。

楽しくプレーができ、知らず知らずのうちに健康・体力の維持増進が図れると共に、人々との交流が深まり、江別市の生涯スポーツとして普及しています。



グリーンボール競技規則

I エチケット

- 1 気持ちよくプレーを楽しむために、コースの樹木や芝を大切にしましょう。
- 2 靴は運動靴を用い、プレーに適した服装にしましょう。
- 3 他のプレーヤーが不愉快になる言動や乱暴なプレーは慎みましょう。
- 4 ボールを打とうとする姿勢に入ったときには、同伴者はプレーの妨げになるような言動は慎みましょう。
- 5 他のプレーヤーのボールを故意にねらい撃ちすることはやめましょう。
- 6 オナー（最初の打者）は、前の組のプレーの状況を判断し、プレーの妨げになったり、危険のないように注意し、第1打を打ちましょう。
- 7 事故のないように周囲の安全に注意を払いプレーしましょう。

II コース及び用具

- 1 コースは、18ホールを基準とし、「Part 1」・「Part 2」・「Part 3」からなる。Part は各ホールに明示する。
- 2 ティー・グラウンドからカップまでの距離は、10mから40m程度とし、標準打数を3とする。
- 3 ティー・グラウンドは、ティー・マークまたはティーマットで明示する。
ティー・マークによる場合は、マークを結んだ線より前に出ないこと。マットの場合は、マットの範囲とする。
- 4 カップは、直径16cmを標準とし、カップを示すポール（ピン）を立てる。
- 5 ゲートは、地面上に30cm×30cmの空間をつくるものを標準とする。
- 6 用具は、クロッカーまたはゲートボール用のスティック及びボールとする。

III パート (Part)

- 1 Part 1（パット&パット）⇒【Part 1】または、【P 1】と表示する。
ティー・グラウンドからカップに入れるまで、ボールをスティックで打つことだけでプレーする。
- 2 Part 2（ゲート&パット）⇒【Part 2】または、【P 2】と表示する。
Part 1と同じプレーで、コース途中のゲートを通過させる。
- 3 Part 3（スロー&パット）⇒【Part 3】または、【P 3】と表示する。
第1打をスローイング（ペタンクスロー）し、2打目以降はPart 1と同様に行う。

IV 競技（ゲーム）

- 1 競技（ゲーム）は、本規則に従いティー・グラウンドからカップに入れるまでの最小の打数を競う。
- 2 スタートホールの打順は、くじ・ジャンケン等により決定するが、以後のホールは、前のホールでの打数の少ない者から順に第1打を打つものとする。また、そのホールの打順は、全プレイヤーがカップインするまで変えないものとする。
- 3 間違って指定された「Part」以外の方法でプレーをした場合は、やり直しとする。
..... 罰則はなし
- 4 第1打目および特に定めがある場合を除いて、ボールは、あるがままの状態プレーしなければならない。ボールを動かしたりコースを工作してはならない。ただし、ボールのそばにある石・枯れ草・紙くず等は取り除くことができる。人為的に動かしたボールは元の位置に戻してプレーする。
..... 罰則はなし
- 5 動いているボールを故意に止めたり、打ったりはできない。
..... 罰則はなし
- 6 他のプレイヤーのボールを誤って打ったときは、元の位置に戻す。
..... 罰則はなし
- 7 打球が他のプレイヤーのボールに接触したときは、自分のボールは止まった位置とし、接触されたボールが不利になったと判断される場合およびカップに入った場合は、接触されたボールを元の位置に戻す。
- 8 プレーの妨げになるボールは、一時的に取り除くことができる。この場合、他のプレイヤーの同意を得て、ボールの後方にマークをしてボールを取り除くこととする。
- 9 樹木や固定物等によりボールが打てないときは、プレーができない旨を宣言し、1打加算し、ボールを移動してプレーする。この場合、ボールを移動できる範囲は、カップに近寄らず、スティックのヘッドの長さの範囲とする。
- 10 OBと指定してある箇所に入るときは、1打加算し、ボールが入った位置からカップに近寄らず、スティックのヘッドの長さの範囲内にボールを移動しプレーする。
- 11 ボールを紛失したときは、1打加算して、紛失したと思われる位置から別のボールでプレーできる。
..... 1 打 罰
- 12 ボールは、スティックのヘッドの部分で正しく打たなければならない。押し出したり、かき寄せたり、スティックのヘッド以外の部分で打ったりした場合は、正しく打ったとは認められず、ボールを元の位置に戻して再プレーする。
..... 罰則はなし

- 13 空振りとは、打数に入れない。
- 14 ゲートの通過は、どちらの方向からでもよい。
- 15 ゲートの通過とは、ボールがゲート上部を投影した線を越えた状態をいう。
- 16 ゲートはボールがどのような状態にあっても、セットされた位置から移動することはできない。
- 17 スローイングは、手の甲を上に向けたアンダースローによらなければならない（ペタンクスロー）。他の投げ方をした場合は、正しいスローとは認められず、再度正しい方法でスローイングする。

..... 罰則はなし

- 18 カップインとは、ボールがカップ内に静止した状態をいう。
- 19 9打目でホールインできない場合は、1打加算して10打としてそのホールを終了する。
- 20 スコアは、各プレイヤーがスコアカードに記入し、お互いに確認する。スコアを少なく申告したときは、その競技は失格とする。

V 競技会等

- 1 競技会は、本規則に定められた内容に準じ、コースとなる会場、競技会の日程、参加人員・対象を勘案し、適宜に競技方法を定めて行うことができる。
- 2 競技会を開催する者は、あらかじめ参加する者に当日の競技方法を周知しなければならない。

- 附 則
- 1. 昭和61年10月10日より実施する。
 - 2. 平成 8年10月10日一部改正する。



● ● ● ● ●
解 說 書

グリーンボール

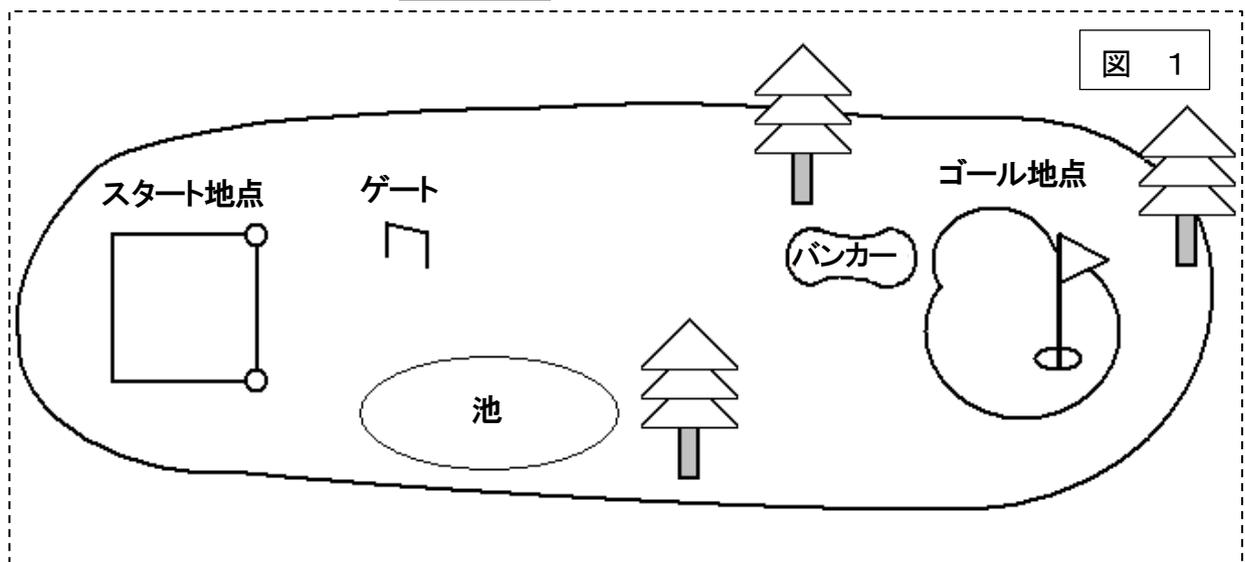
I 概要

グリーンボールは、ゴルフ、ゲートボール、ペタンクの面白さを取り入れ考案したスポーツです。体力・年齢的ハンディーも余りなく、少年層から高齢者までだれでもが楽しめるとともに、コース戦略の面白さもあります。

II コース

コースの基準は、次のとおりです。

- ① 1ホール、10～40m程度の距離で18ホールとする。
- ② 18ホール中に、Part 1・Part 2・Part 3を適当に配置する。
- ③ 各ホールには、スタート地点（ティー・グラウンド）、ゴール地点（カップ）、途中にゲートを設置する。 図1参照



III 競技（ゲーム）要領

1 Part 1（パット&パット）

スタート地点からゴール地点にカップインするまで、ボールをスティックで打つことだけでプレーする。

2 Part 2（ゲート&パット）

Part 1と同じプレーで、コース途中のゲートを通り抜けた後、カップインする。

3 Part 3（スロー&パット）

第1打をスローイング（ペタンクスロー）し、2打目以降はPart 1と同じプレーをする。

4 留意点

(1) 打ち方

- ① スティックのヘッドの部分で正しく打つ。

押し出したり、かき寄せたり、スティックのヘッド以外の部分で打ったりした場合には、正しく打ったとは認められず、ボールを元の位置に戻し、再プレーを行う。

..... 罰則はなし

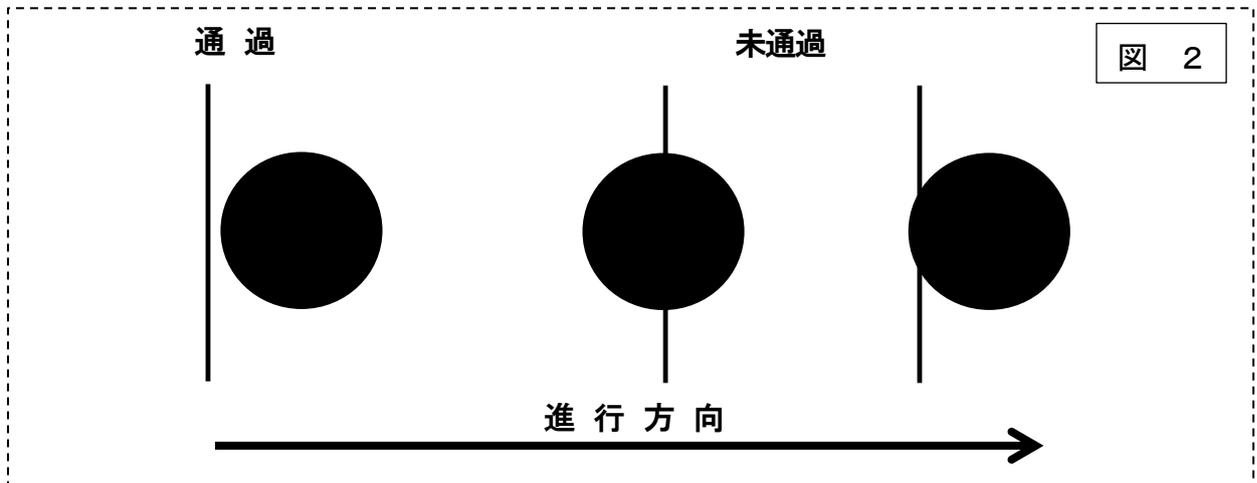
- ② 空振りは打数に入れない。

(2) ゲートの通過

- ① ゲートの通過はどちらの方向からでもよい。

- ② 通過とは、ボールがゲート上部を投影した線を越えた状態をいう。

図2参照



(3) スローイング

- ① ペタンクスローによる。

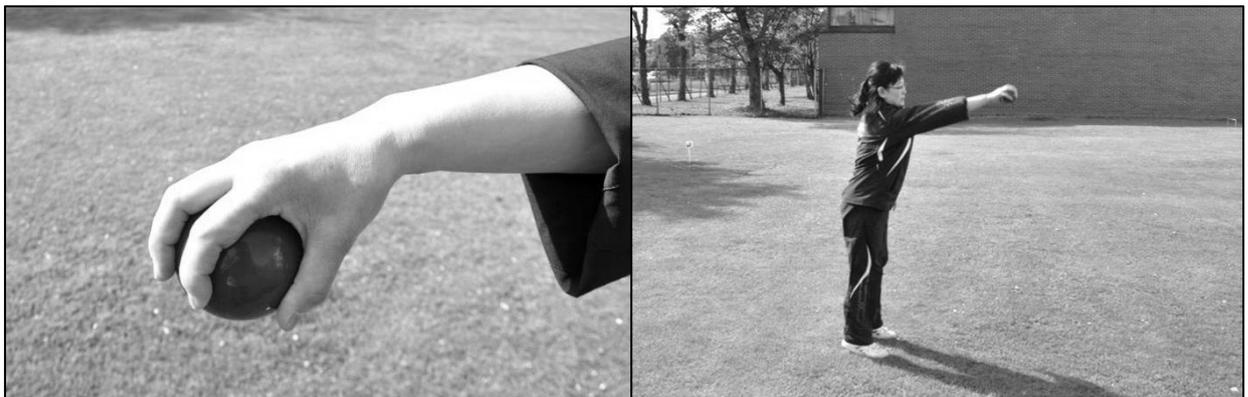
手の甲を上に向け、アンダースローで投げる。

図3参照

- ② 他の投げ方をした場合には、正しいスローイングとは認められず、再度正しい方法でスローイングする。

..... 罰則はなし

図 3



IV 競技（ゲーム）の進め方

1 打順の決定

- (1) スタートホールの打順は、くじ、ジャンケン等により決定する。
- (2) 2ホール目からの打順は、前のホールの打数が少ない者からとする。

2 第 1 打

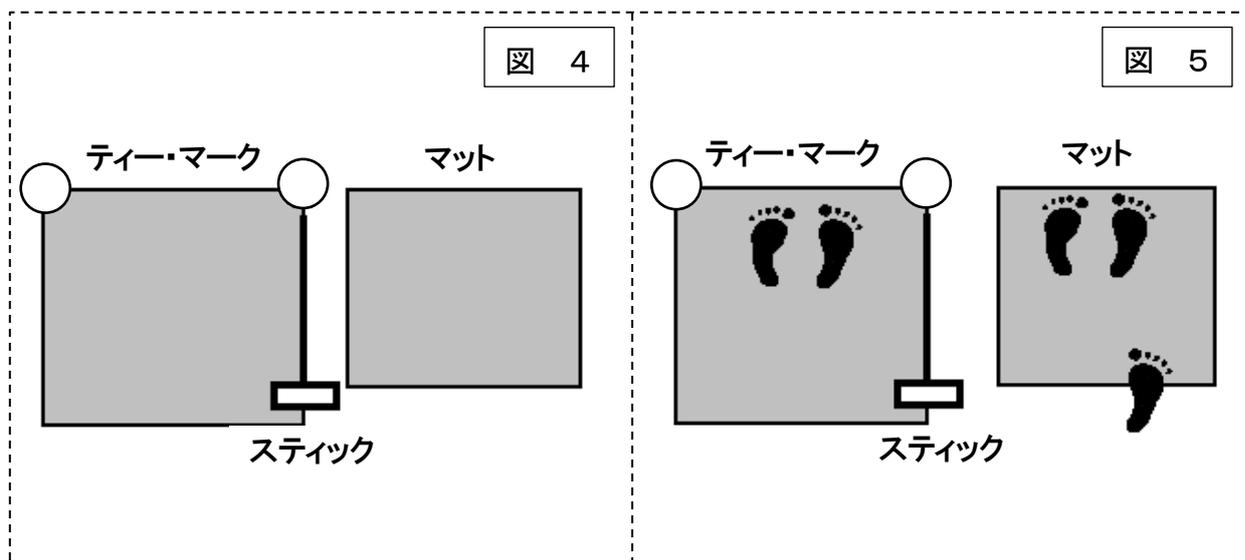
- (1) 第1打は、決められたスタート地点（ティー・グラウンド）から打つまたは投げる。
- (2) ボールを置く位置は、次のとおりとする。

- ① ティー・マークのあるホールでは、スティックの長さまでとする。
- ② ティー・マットのあるホールでは、マット内とする。

図4参照

- (3) 第1打がスローイングの場合の足の位置は、前記①②と同様とする。ティー・マットの場合は、足がマットの後ろへ出ても可とする。

図5参照



3 第2打以降

ボールを正しくヒットし、ゴール地点でカップインしてそのホールを終了する。

4 トラブル等

- (1) OB（アウト・オブ・バウンズ）

ボールがOBゾーンに入ったり、打てない状態になった場合は、1打加算してプレーを行う。

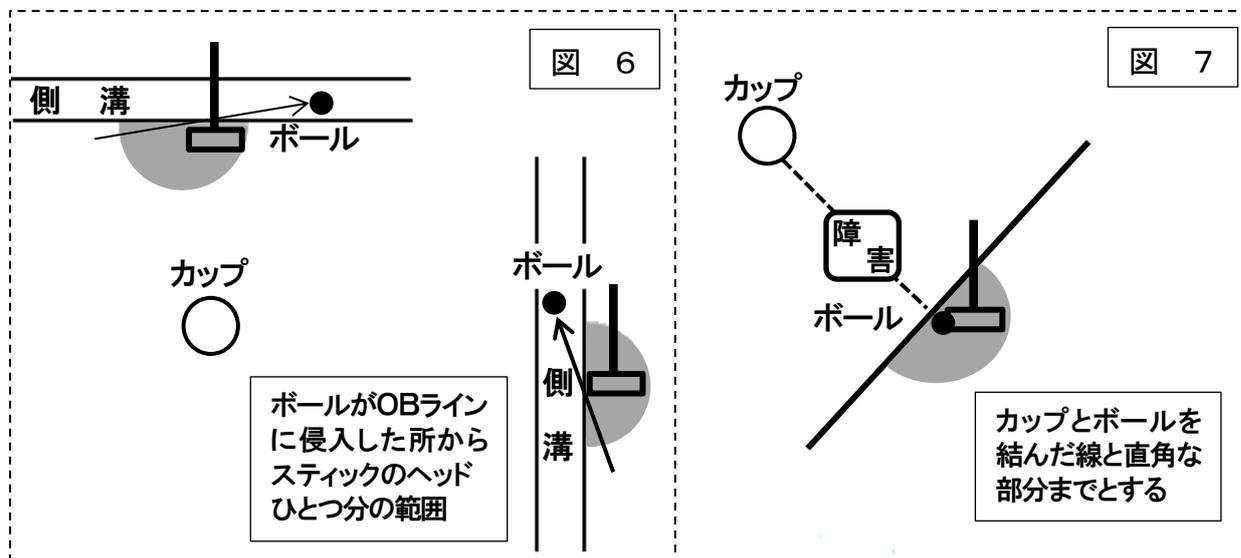
- ① OBの場合、ボールを置く位置は、ボールがOBラインを横切った位置からカップに近づかない位置で、スティックのヘッドの長さの範囲内とする。
- ② ボールが側溝・園路等、段差のあるところに入った場合には、ボールが入った側の入った位置からカップに近づかない位置で、スティックのヘッドの長さの範囲内にボールを置くものとする。

図6参照

※ 特異なコースの場合

「^{がけ}崖がある」・「水たまりがある」等、特異なコースでは、そのコースのみに適用する特別ルールを設定することができる。 図7参照

《例》錦町公園のような^{がけ}崖などがあるところで大会等を実施するような場合



(2) ボールの接触

アドバンテージ・ルールを適用する。

- ① 自分のボールは止まった位置とし、当てられたボールの位置は当該プレーヤーの選択による。

選択の範囲

(ア) ボールの止まった位置からプレーする。

(イ) ボールを元の位置に戻してプレーする。

- ② 当てられたボールがカップインした場合は、カップインとはせず、元の位置に戻してプレーする。

V スコアカードの記入

1 スコアカードには、自分のスコアと相手のスコアを記入する。

2 記入にあたっては、打数をそのまま記入する。

3 9打目でカップインしない場合は、スコアは10と記入する。 促進ルール

(注) スコアカードは、10までの数字しか記入されない。

附 則 1. 昭和61年10月10日より実施する。

2. 平成 8年10月10日一部改正する。

VI スコアカード

FAMILY SPORTS											GREEN-BALL EBETSU												
競技会名 _____ (平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日)																							
ホール NO.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL 54	HDCP	NET
PART																							
PAR	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27			
氏 名																							



GREEN BALL



昭和61年(1986年)4月 第1版第1刷発行

平成9年(1997年)3月1日 第1版第2刷発行

平成10年(1998年)5月1日 第1版第3刷発行

平成24年(2012年)6月1日 第2版第1刷発行

著者 三好 泰宏

発行者 財団法人江別市スポーツ振興財団

〒069-0813 江別市野幌町9番地

TEL 011-384-5001 011-385-8228

FAX 011-385-7192

方法の如何を問わず、全部もしくは一部の複写、複製、転載を禁ず。

著作権、出版権は全て発行者に帰属します。
